

# 平成20年度 瑞浪市の主な財政指標

## 財政力指数

地方公共団体の財政力を示すものであり、この指数は1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があると判断されます。

**財政力指数（過去3年間の平均値を使用することが多い）＝**

$$\frac{\text{基準財政収入額（標準的な状態において徴収が見込まれる税収入等）}}{\text{基準財政需要額（合理的かつ妥当な水準における行政運営を行うための財政需要）}}$$

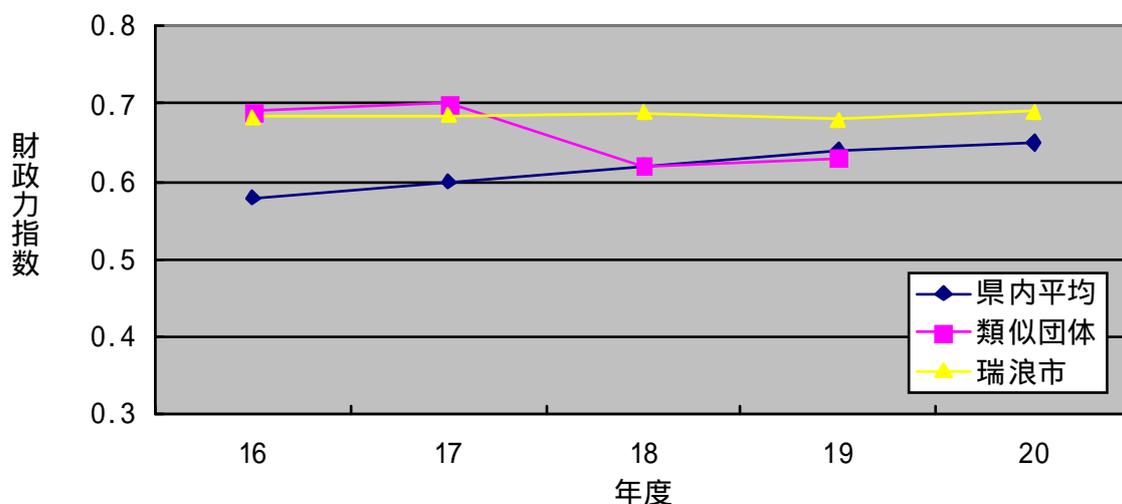
瑞浪市の財政力指数は、次のとおりです。瑞浪市が分類される類似団体の類型が変更となったため、平成18年度決算から類似団体平均を上回っているものの、全国平均を上回る高齢化率や、景気の低迷により歳入に占める市税収入の割合が低く、より一層の歳入確保に努める必要があります。

表1 瑞浪市の財政力指数の推移

	H18	H19	H20
瑞浪市	0.69	0.68	0.69
類似団体	0.62	0.63	
県内平均	0.62	0.64	0.65

（県内平均は県内市町村の単純平均）

図1 財政力指数の推移



## 経常収支比率

人件費等の義務的性格の経常経費に、地方税・地方交付税・地方譲与税を中心とする経常的な収入である一般財源がどの程度充当されるかをみることにより、当該団体の財政構造の弾力性を判断する指標です。(70～80が望ましいとされています。)

**経常収支比率 =**

$$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源 + 減税補てん債発行額 + 臨時財政対策債発行額}} \times 100$$

瑞浪市の経常収支比率は、次のとおりです。公債費、扶助費は今後増加することが予測されることから、人件費削減、受益者負担の見直し等による繰出金の抑制、その他経常経費の一層の削減が必要となります。

表2 瑞浪市の経常収支比率の推移

	H18	H19	H20
瑞浪市	91.0	90.7	91.7
類似団体	93.6	93.4	
県内平均	85.2	87.1	87.9

(県内平均は県内市町村の単純平均)

図2 経常収支比率の推移

